

①取組主体

名称 : 株式会社フローレッツエンティワン
担当窓口 : 担当課(者) センター21 営業部(高杉揚子)
住所 東京都品川区勝島1-5-21 東神倉庫別館
電話 03-5763-8001 FAX 03-5763-8700
E-mail a-takasugi@flore21.com

団体等の種類: その他(仲卸)

構成員数 : 5人
活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無: 有
HPアドレス: <http://www.flore21.com>

②連携している団体等の有無: 有

(有の場合) 連携している団体の属性(複数回答可、主な団体等のみ):
日本フローラルマーケティング協会

③取組地域 東京都品川区

④取組開始時期・経緯(動機含む)

社員の新規事業提案から活動を開始。
(提案社員は一児の母であり、花に触れる機会が少なくなった子ども達へ花に触れる機会を作りたいと提案。)
取組開始時: 2006年10月～

⑤目的(目標)

花の需要拡大に向けて、ターゲットを絞り、花に触れるファーストコンタクトの機会をつくり、「花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝える」。また「花の記憶」を残してもらう。

⑥参加者数・属性推移

2006年の10月より、品川区の児童センターで実施
2006年10月～2007年4月末まで、448人(延べ)が参加
小学生 = 291人
お母さん = 137人
先生 = 20人

⑦経費

参加費300円～1,000円
花材は参加費から。人件費等の経費はボランティア

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

花の需要拡大に向けて、子ども（幼児・小学生・中学生・高校生）と幼児のお母さんに（0～3歳児）ターゲットを絞り、

- ①花に触れるファーストコンタクトの機会をつくり、花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝える
- ②花を自由に選ばせ、活けさせる（6～10種類の季節の花材を用意、水揚げ処理のみ）
- ③花の説明（品種、特徴、扱い方、生産地等や花（茎）に切り方、挿し方、花器について）等を行い、花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝えるため、形にとられず、思い思いの花を選ぶ楽しさを実感してもらう。
また、自分の選んだ花を覚えてもらうために、「花レシピ」を用意し、毎回自分で選んだ花を記入してもらう。「花レシピ」とアレンジした花を家に持ち帰る事により、家族とのコミュニケーションツールとなっている。
- ④家庭にある物で、簡単にアレンジできるようにしている。

○活動回数

平成18年 14回（2006年10月～12月末）

平成19年 11回（2007年 1月～ 4月末）

○実施場所

児童館3館、小学校1校

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

花を見て、触って、実体験することにより、喜び・感動・楽しさ・発見・生命について、参加者に伝えることができたこと。

子どもについては、集中力・色彩感覚を高め、感性豊かに育つための架け橋となれたこと。

また、幼児のお母さんについては、花に触れる事での癒しと心の余裕ができた事や、今まで素通りしていた花屋さんを気にするようになったとの意見が出ている。

⑩今後の構想、課題

今後の構想：都内23区の児童センターへの活動、保育園・幼稚園・小学校への活動
市場見学・産地見学、職業体験（花屋体験）

今後の課題：活動人員の確保、花材の供給

⑪その他

別添1：活動の様子

別添2：「HANA I KU」提案

HANAIKU (花育) の様子

フローレ21



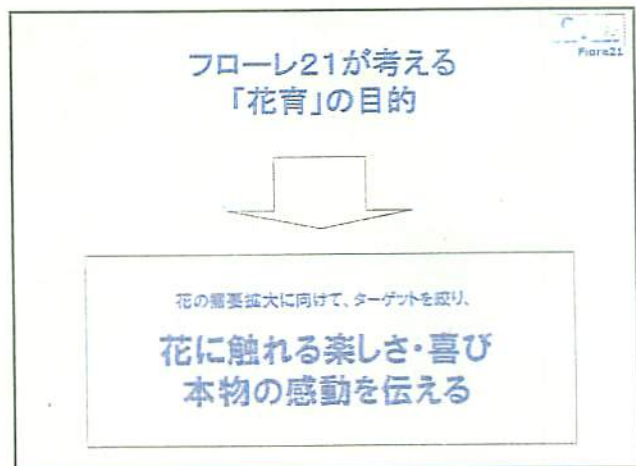
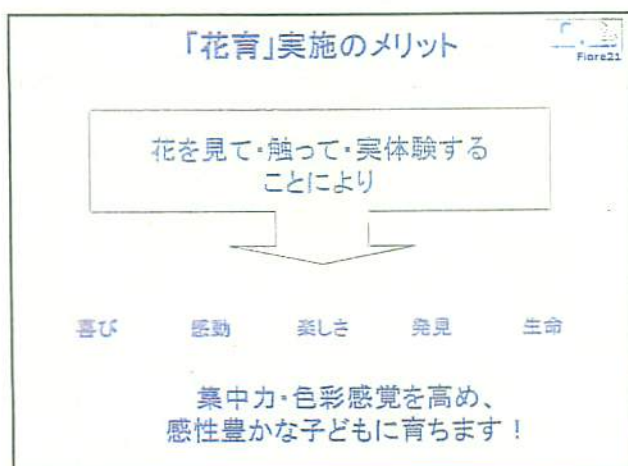
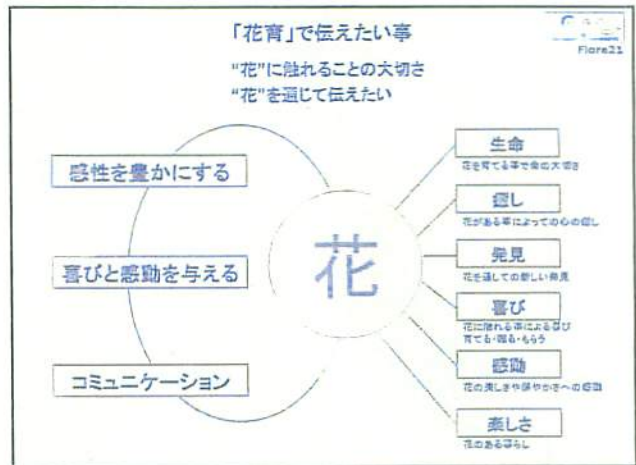
Play Research NANAIKU 07

花育

「HANAIKU」

花を通しての心の癒し・花の需要拡大のための「HANAIKU」提案

2007年1月15日
株式会社フローレツエンティワン



Flora21

活動名 = 「HANAIKU」 for Kids for Mama

ミッション =

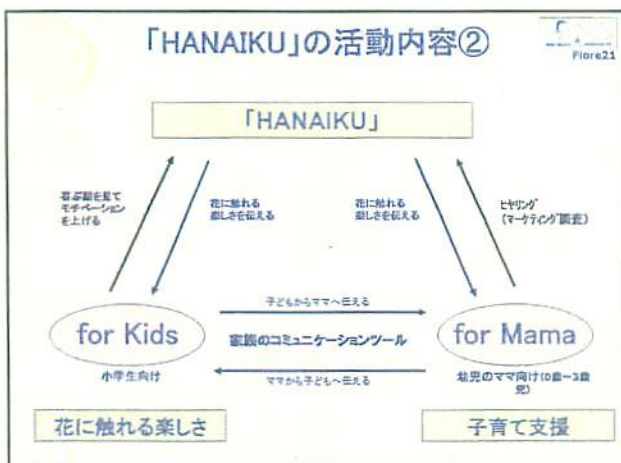
- 花に触れる楽しさ・喜び
本物の感動を伝える
- サンプル・キットにした花材を
用意せず、花遊びの楽しさを
伝える

Flora21

「HANAIKU」の活動内容①

花の需要拡大に向けて、ターゲットを絞り、
花に触れる楽しさを伝える

ターゲット	子ども(小学生・中学生・高校生) 幼児のお母さん(0~3歳児)
活動内容 児童センターでの 取り組み	花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝える 花を自由に選ばせ、活かさせる 低料金・短時間 花の説明 生産者との取り組み(花材協力・産地見学)



Flora21

「HANAIKU for Kids」の重要性

現代を生きる子ども達の多くは、日常的にメディアを通して物事を知る機会が多いと言う事が考えられます。生活の中でメディアが先行し、物事を知ると言う事に慣れてしまい、ちょっとしたことでカッとしたり、自分で自分の感情をコントロールできなくて「キレてしまう」子ども達の少年犯罪が多発していると考えます。

また、親が目先の小さなことばかりにとらわれて、感動を忘れてた生活をしているのではないのでしょうか。

本物を見て・触れてそこから「どう感じたか」「何を考えたか」「どんな気持ちがあったか」といったような、人間の初期の発達に大切な『視覚』『聴覚』『嗅覚』『味覚』『触覚』といった「五感」動物的な感覚が幼少期にバランスよく使う事が大切だと考えます。

庭がある家庭が少なくなり、庭で花を育てたり、食卓に花を飾るという習慣が少なくなった昨今。幼少の頃から土・花に触れる機会が減少してきました。

花は五感でいう、視覚・嗅覚・触覚を使う事ができます。

花に触れる・体験することで、子ども達は自然・芸術からの感動・感激を満たすことができるのではないのでしょうか。

「HANAIKU for kids」を行なう毎に、毎回子ども達の創造性に驚かされています。そして、「花」に触れる時の子ども達の顔はとても真剣で、すばらしい顔をしています。作品を家に持ち帰り、「花」が家族とのコミュニケーションツールにもなっています。

子どもの頃から「花」に触れる事で、いろいろな事を感じてほしいと思っています。また、花のある暮らしを絶やさないよう「HANAIKU」で行なった事を大人になってからも忘れないでほしいと思います。

「HANAIKU for Mama」の重要性



10ヶ月間、産まれるのを待ちに待った可愛い赤ちゃん。でも、産まれたらその後、四六時中、気が休まる時間もなく、赤ちゃんと一緒に、新米ママにとっては、いろんな悩みを抱えています。しかし、近年の都市化、核家族化等に伴う地域の人間関係の希薄化等により、子育ての悩みを打ち明け人・気軽に相談できる人がいなくなってきました。家で子どもと一対一になり、閉ざされた空間で、一人で悩み、虚待にまってしまうケースもある若いママ達へどう支援を行って行くべきかを各県・自治団体等で子育て支援の強化を行なっています。

「HANAIKU for Mama」の回数を重ねるにつれて、この「HANAIKU」も子育て支援としての社会的な重要性を感じています。現在は児童センターで行なっている事もあり、センターの先生に子どもを預けられるので、お母さん達は「花」に触れて、リフレッシュし、とても喜んで帰って行きます。私達が「HANAIKU for Mama」として行なっている対象は団塊世代のジュニアとその下の年代と一致しています。消費をリードしてきた彼女達はママになった途端に育児に負われています。よく、花を買う年齢層は50代～40代と言われていますが、育児をしている20～30世代は花に触れたくても、とても花に触れる余裕がありません。私達はこの「HANAIKU」を通じて、お母さん達のリフレッシュする為の時間と、今まで花屋を素通りしていたママ達に少しでも「花」を生活の一部に取り入れてもらいたいと考えています。

「HANAIKU」実施内容



1. 形にとらわれず、思い思いの花を選ぶ楽しさを実感してもらう。
2. 花を選ぶ楽しさ、花の扱い方を知ってもらう為、6～10種類の花材を用意。
※花材はその花の自然な姿を見せたいので、下葉処理やトゲ取り等はして行きません。
(水上げ処理のみ)
3. 季節の花を使用。
4. 花の品種名・特徴・扱い方・生産地等について説明を行う。
5. 花(茎)の切り方、挿し方、花器についての説明を行う。
6. 「花レシビ」を用意。
自分の選んだ花の名前を見えてもらう為、また、家族とのコミュニケーションツールとして。

「HANAIKU」カリキュラム



アレンジ等を作製する前に、まず、花の性質や花に触れるところから覚えて行きたいと思しますので、生花の①・②は必修となります。

①・②以降のカリキュラムに付きましては、下記のカリキュラムから選択となります。

生花	制作時間	押し花	制作時間	その他	制作時間
① 花に触れる(必修)	30分	① ストラップ作製	30分	市場見学 農地見学 等	
② 花を触しむ(必修) (花の首振り作製)	30分	② 花を押す カード作製	30分		
③ 花を飾る (トピック花で作製)	45分	③ キャンدل作製 (乾燥押した花を使用)	45分		
④ 花をアレンジする (ペーパー作製)	45分	④ 万葉歌作製	45分		
⑤ 花をアレンジする (季節のイベントに合わせて、アレンジ作製)	45分	⑤ ワッドプレート作製	45分		

※カリキュラムの内容は変更する場合がございます。

「HANAIKU」実施に際してのお願い



児童センターの先生方に対してのお願い

- 場所の確保をお願いします。
- レッスン時間は30分～60分内で行える内容に致します。
- 花材費・資材費の費用はご負担願います。
- ゴミの処理をお願いします。
- レッスンに関してましては弊社より、講師を派遣いたします。
※レッスン中、お手伝いしていただける方をお願いします。
(先生・ボランティア)
- レッスン中、事故が発生しないよう、配慮いたしますが、万が一事故が発生した場合は責任を負いかねますので、予めご了承願います。

「HANAIKU」実施の費用



1回 1人 300円 ~ 1,000円

- 1レッスンの中には花材費+資材費+人件費が含まれております。
- レッスン内容によっては、費用が変更する場合があります。また、ご希望の内容に変更する場合は、別途費用をいただく場合がございますので、予めご了承ください。

「HANAIKU」活動報告



●実施回数

14回 (2006年10月~12月末)
小学生 = 8回
お母さん = 5回
先生向け = 1回

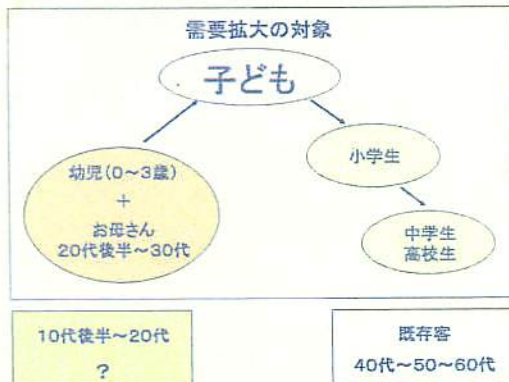
●実施場所

児童館 3館 (品川区)
小学校 1校 (先生向け 豊島区)

●参加人数

265人 (2006年10月~12月末)
小学生 = 191人
お母さん = 54人
先生 = 20人

今後の「HANAIKU」を通じての可能性



今後「HANAIKU」を行なって行く上での問題点



活動人員の確保(ボランティア)

花材供給

今後の「HANAIKU」活動目標



都内23区の児童センターへの活動

保育園・幼稚園・小学校への活動

市場見学

産地見学

職業体験(花屋体験)

「HANAIKU」教材企画

地域花屋への「HANAIKU」活動(お花のワークショップ・花屋訪問等)

子ども割引制度
(「HANAIKU」ステッカーを作成し、同意を得た花屋へ貼る
又は販売する)



END

ありがとうございました。